

「ディスカバー農山漁村の宝」(第6回選定) 選定地区及び選定者一覧(案)

【資料2】

NO.01 北海道 遠別町 【若者の活躍】
北海道立 遠別農業高等学校
 【概要】 自給率の低い種の**羊の飼育・加工・販売**を一貫して実施。
 【成果】 加工品は**ふるさと納税返礼品**で取り扱われるほか、**ショッピングサイト**でも販売。



NO.02 北海道 津別町 【輸出】
株式会社 山上木工
 【概要】 **機械力と職人技の融合**により、高品質な木工品を安定的かつ効率的に生産。
 【成果】 売上は**2億円**(H30)となるほか、**東京オリパラのメダルケース製造**に携わる。



NO.03 北海道 弟子屈町 【農泊】
有限会社 渡辺体験牧場
 【概要】 家族で牧場経営、**体験ツアー**の実施や**加工品の開発・販売**。
 【成果】 ツアー参加者数は**約3万人**(H30) (うち外国人**6千人**)のほか、牧場の売上は**約1.1億円**(H30)。



NO.04 宮城県 登米市 【6次化】
有限会社 伊豆沼農産
 【概要】 米と豚の**自社食材**を活用した**レストランや直売所**を開店。
 【成果】 H30には、来店者は**約15.2万人**、売上は**約1.5億円**。雇用者は5名→**35名**に増加(H30)。



NO.05 山形県 上山市 【森林利活用】
上山市温泉アオルト協議会
 【概要】 **森林を活用**した**健康ウォーキング**を年間360日間実施。
 【成果】 ウォーキング参加者は**約1.3万人**(H30)。健康目的の宿泊者数は**約1,700人**(H30)。



NO.06 山形県 天童市 【農泊】
株式会社 やまがたさくらんぼファーム
 【概要】 地域の温泉と連携し、「**朝摘みさくらんぼツアー**」を商品化。
 【成果】 来園者は**約2.3万人**(H30)。農作業**体験ツアー後に直接雇用**するケースも発生。



NO.07 山形県 河北町 【環境保全】
河北町河津野田郷地・水・環境保全推進運営委員会
 【概要】 **環境学習専用水田**(「めだかの学校」)の開設や、**特別栽培米**「べに花めだか米」を栽培。
 【成果】 来訪者は地域人口の2.4倍の**約1,000人**(H30)。栽培面積は**地域水田の35%の24.8ha**に拡大(H30)。



NO.08 茨城県 常陸大宮市 【高齢者の活躍】
JANA常陸 久慈樹形会
 【概要】 耕作放棄地解消のため、高齢者を取り込み、農地で**作物の栽培**に取り組む。
 【成果】 栽培面積が**57.8ha**まで拡大(H30)し、**約1.2億円**の売上。定年帰農者の所得が向上。



NO.09 群馬県 川場村 【教育機関との連携】
富士山農産物加工協議会
 【概要】 **教育機関と連携**した**イベント**の実施や、**棚田オーナー制度**にも取り組む。
 【成果】 棚田オーナーは**16人**(H29)→**56人**(H30)に増加。イベントにより、**若者との交流**が進んだ。



NO.10 埼玉県 熊谷市 【6次化/SNS活用】
TATA GREEN株式会社
 【概要】 **さつまいもの加工・販売**に取り組むほか、「**カッコイイ農業**」を目指し、**SNS**等で魅力を発信。
 【成果】 売上は**約7,400万円**(H30)。SNSのプロフォワー数は**4,000人**(H30)。



NO.11 東京都 渋谷区 【都市農業】
東京NEO-FARMERS!
 【概要】 都内や周辺地域の就農予定者が、**田舎に就農できる環境整備**に取り組む。
 【成果】 新規就農会員数は**19名**(H26)→**44名**(H30)に増加。会員間での情報交換会も実施。



NO.12 静岡県 島田市 【輸出】
杉本製茶株式会社
 【概要】 後継者確保等のため、国内の中小製茶企業に先駆け、**輸出事業**に着手。
 【成果】 販路開拓の結果、現在では**22ヶ国へ輸出**を行い、茶・抹茶輸出売上高は**約5億円**(H30)。



NO.13 新潟県 上越市 【新しい産地づくり】
株式会社 岩の原葡萄酒
 【概要】 ぶどう栽培の**手引書**を発行するなど、地域の**生産性向上**に貢献。
 【成果】 ワインの売上は**約4.3億円**(H30)のほか、**G20大阪サミットで使用**された。



NO.14 石川県 白山市 【若者の活躍】
石川県立 愛蔵高等学校 食品科学研究会
 【概要】 「**廃棄果皮0システム**」を構築し、全国展開を語るため、SNS等でPR。
 【成果】 廃棄果皮消費量が**324g**まで増加。**SDGs達成に貢献する施策**として事例発表。



NO.15 石川県 津幡町 【環境保全】
河北町河津野田郷地改良区
 【概要】 「**ひまわり村**」を開村し、イベント等を通じて、干拓地の理解醸成を図る。
 【成果】 入村者は**2.9万人**(H30)。地域の夏の風物詩として定着。



NO.16 福井県 小浜市 【若者の活躍】
株式会社 若菜町産
 【概要】 景観作物のひまわりを緑肥とした**米の開発・直販**に加え、**レストラン**も開設。
 【成果】 米の売上は**約1.1億円**(H30)。社員全員が**40代以下**で正規雇用は**3人**(H27)→**11人**(H30)に拡大。



NO.17 愛知県 西尾市 【農泊】
西尾南部ベイエリア協議会
 【概要】 教育機関と連携し、**うなぎを使用**した体験プログラムや新商品を開発。
 【成果】 H29から活動を開始し、売上は**約1.5億円**(H30)、宿泊者数は**9千人**(H30)。



NO.18 愛知県 新城市 【環境保全】
靴紐山麓干牧田保存会
 【概要】 教育機関と連携し**体験学習**等を実施するほか、**COP10の誘致**にも貢献。
 【成果】 棚田見学者は**2.5万人**(H30)。COP10を機に、**海外からの視察**が増加。



NO.19 三重県 四日市市 【輸出】
ミナミ産業株式会社
 【概要】 高付加価値大豆の普及を図るほか、大豆製品を海外**28ヶ国へ輸出**。
 【成果】 輸出額は**5,100万円**(H30)。新規開業事業にも取り組み、**65店舗**の開業に貢献。



NO.20 京都府 京田辺市 【農福連携】
さんさん山城
 【概要】 廃園予定の茶園を継承し、**農福連携**に取り組む。障がい者が中心となったカフェも開設。
 【成果】 カフェへの来店者は**約8,300人**(H30)。取組が**SDGs国際会議で報告**され、高評価を獲得。



NO.21 大阪府 河南町 【食育・教育】
農事組合法人かたん
 【概要】 **食農教育**に積極的に取り組むほか、地場農産物を使用した加工品を開発・販売。
 【成果】 直売所の売上は**約2.9億円**(H30)。すべて**町内産野菜を使用**する給食を年4回実施。



NO.22 鳥島県 大田市 【6次化】
株式会社 魚の屋
 【概要】 **天然わかめを活用**した加工品の開発・販売。作業の一部を障がい者施設等に委託。
 【成果】 売上は**3,000万円**(H26)→**3.5億円**(H30)に増加し、**漁師の所得向上**に貢献。



NO.23 広島県 北広島町 【農村文化体験】
海鮮寺
 【概要】 地元産野菜を使用した**イタリアン精進料理**を開発・提供。読経や説法とあわせて実施。
 【成果】 来客者は年間**約2,000人**(H30)。スタッフとして、地域住民を雇用。



NO.24 山口県 萩市 【高齢者の活躍】
株式会社 三見シーマーズ
 【概要】 **規格外魚を使用**した弁当や総菜を加工・販売。宅配やレストラン運営も実施。
 【成果】 弁当は年間**2万食**、高齢者への宅配は年間**1,000食**(H30)。レストランの来客者は**3.5万人**(H30)。



NO.25 愛媛県 宇和島市 【若者の活躍】
愛媛県立 宇和島水産高等学校 水産食品研究部
「フィッシュガール」
 【概要】 県産魚PRのため、国内外でマグロの**解体ショー**や、魚食の**表演販売**を実施。
 【成果】 解体ショーは国内では年間**約30回**(H30)のほか、高校施設で開発した加工品としては**国内初となる米国輸出**を実現。



NO.26 愛媛県 八幡浜市 【6次化/GAP取得支援】
農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン
 【概要】 「**GAP取得認証支援システム**」を開発し、他者の取得を支援。廃棄していた**摘果みかんを加工品**に開発・販売。
 【成果】 売上は**1.6億円**(H30)。開発した支援システムにより、農業高校等での**GAP取得に貢献**。



NO.27 高知県 越知町 【高齢者の活躍】
農事組合法人 ヒューマンライフ土佐
 【概要】 高齢者でも作業ができる生薬を**製薬会社との契約栽培**で生産。
 【成果】 生薬の売上は年間**4.5億円**(H30)。契約農家は**500戸**で、栽培面積は**130ha**(H30)。



NO.28 佐賀県 伊万里市 【環境保全】
すみやま畑守る会
 【概要】 荒廃した棚田を整備し、**企業と連携**した体験や販売などを実施。
 【成果】 純米酒が仏の品評会で**金賞委員**(H28)。ケーブルTV、大学などと多様な**情報発信**を展開。



NO.29 宮崎県 五ヶ瀬町 【農村文化体験】
特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校
 【概要】 地域資源を活かした**エコツーリズム**や、周辺地域への**ボランティア支援**を実施。
 【成果】 自然体験イベントは延べ**1,000人以上**が参加(H30)。



NO.30 長崎県 大村市 【6次化】
有限会社 シュシユ
 【概要】 **地元農産物を使用**した商品開発・販売のほか、**食育・収穫体験**等も実施。
 【成果】 売上は**3.9億円**(H30)で、体験者数は**計約3万人**(H30)。常時雇用職員の**8割が女性**。



NO.31 鹿児島県 南さつま市 【農福連携】
株式会社 南風ベジファーム
 【概要】 野菜の栽培や農産物加工に取り組み、**障がい者**を多く雇用。
 【成果】 農業出荷額は**1.8億円**(H30)。開業5年で障がい者**40名**を含む**60名**の雇用を創出。



個人01 東京都 檜原村 【伝統継承】
高橋 亨(たかはし とおる)
 【概要】 野菜の原料となる在来種で絶滅危機種の「**ムラサキ**」の栽培・育成・活用の**伝承者**。
 【成果】 **教育機関と連携**した活動などを通じ、**原料の安定供給**に向けた取組に従事。



個人02 石川県 能登町 【環境保全】
上乗 秀雄(じょうのり ひでお)
 【概要】 故郷の**里山を再開発**し、**自然体験村「ケロン**の小さな村」を創設。
 【成果】 来村者は子ども**4,000人**を含む**5,000人**(H30)。自作絵本の読み聞かせ等の参加者は**2,000人**(H30)。



個人03 岐阜県 恵那市 【移住・定住】
大島 光利(おおしま みつとし)
 【概要】 過疎化に伴い増加した空き家をリフォームし、**移住・定住の促進**を取り組む。
 【成果】 H23以降**28軒**の空き家を改修し、**70名**の移住に貢献。



個人04 三重県 多気町 【農村文化体験】
北川 静子(きたがわ しずこ)
 【概要】 地元産産物を使用した料理の提供や体験等を通じ、**農村の文化や技術を伝承**。
 【成果】 レストラン来客者は年間**9.5万人**(H30)。雇用の人件費等、地域への貢献金額は**6,000万円**(H30)。



個人05 徳島県 阿南市 【食育・教育】
新居 希予(にい きよ)
 【概要】 農家として、農業や地域の魅力を各種メディアで**情報発信**。
 【成果】 無農薬米の栽培面積は、**当初の10倍**に増加。地元ケーブルTVで**番組を監修**。



(注) 緑色：「コミュニティ部門」選定地区、青色：「ビジネス部門」選定地区、桃色：「個人部門」選定者